

ごあいさつ

本日は、「地域の特産品の利活用を考える勉強会～日高春ウニフォーラム」にお越しいただき、誠にありがとうございます。

えりも町、様似町、浦河町の3町では、ここ数年、それぞれが春先に「日高春ウニ」をPRするお祭りを開催しております。日高のウニは、北海道で一番早い春に旬が訪れることはまだそれほど知られておらず、今は”隠れた日高の特産品”と言われざるを得ません。日高昆布を食べて育った日高のウニの味は格別です。今後は、この特産品を利活用した取組を更に進めていきたいと考えています。

一方、室蘭開発建設部では、従前から、地域が抱える課題の解決に役立てていただくことを目的として、胆振・日高地域の農水産業の活性化に資する調査を実施しておりますが、地域の皆様からは「単に調査を行うだけでなく、もっと地域と一緒にになって、地域振興に取り組むことができないか」といった旨のご意見があったところです。

本フォーラムは、これらの経緯から4者が連携して開催することとなったものです。本日まで参加いただいた皆様におかれましては、この取組を通じて、「日高春ウニ」の魅力と地域おこしの可能性を一緒に考え、理解を深めていただくことで、地域の活性化につながればと考えています。

えりも町、様似町、浦河町の3町では、今春も日高春ウニをPRするイベントを予定しております。旬の食材を地元で食べることができる機会ですので、多くの皆様のお越しをお待ちしております。



えりもうに祭り



さまにウニ祭り



浦河さくらウニまつり

主催：えりも町、様似町、浦河町、室蘭開発建設部
後援：えりも漁業協同組合、日高中央漁業協同組合、ひだか元気グルメ研究会、えりも町商工会、えりも観光協会、様似町商工会、様似町観光協会、浦河商工会議所、浦河観光協会、北海道運輸局室蘭運輸支局、北海道日高振興局

お問い合わせ先 開催事務局：北海道開発局 室蘭開発建設部 地域振興対策室
TEL：0143-25-7053 E-mail：chiikisinko-mr@hkd.mlit.go.jp



浦河町
URAKAWA
浦河町「優駿さくらロード」

様似町
SAMANI
様似町「親子岩」

えりも町
ERIMO
えりも町「襟裳岬」

地域の特産品の利活用を考える勉強会 日高春ウニフォーラム

日時 平成24年 2月29日(水)
13:00～16:30(開場12:30)

場所 ホテル札幌ガーデンパレス
2階 丹頂

同時開催
殻つきウニ賞味会
パネルディスカッション終了後に開催
1個100円(1人2個まで)
無くなり次第終了

ウニに関するパネル展
日高のウニ漁、ウニの生態、漁獲量、社会資本のパネル展示

日高春ウニフォーラム

地域の特産品の利活用を考える勉強会

プログラム

- 12:30** 開場
- 13:00** フォーラム開会
 主催挨拶 岩本 溥叙 えりも町長
 来賓挨拶 北村 健 様 北海道日高振興局長
- 13:10** 調査報告 (15分)
 北海道開発局 室蘭開発建設部
- 13:25** < 休憩 >
- 13:35** パネルディスカッション (1時間30分)
 【テーマ】「春ウニの魅力と地域おこしの可能性」
- コーディネーター**
 鈴木 宏一郎 氏 (株)北海道宝島旅行社代表取締役社長
- パネリスト (50音順)**
- | | |
|---------|--------------------|
| 上野 勝三 氏 | 松前さくら漁業協同組合直販センター長 |
| 金子 武彦 氏 | えりも漁業協同組合営業部長 |
| 川端 美枝 氏 | (有)フードアトラス代表取締役 |
| 徳田 正人 氏 | 浦河町水産商工観光課長 |
| 三国 昭博 氏 | ひだか元気グルメ研究会会長 |
- 15:05** 質疑応答
- 15:30** 殻つきウニ賞味会 ～フォーラム終了

殻つきウニ賞味会は、パネルディスカッション終了後に行います。1個100円で、お一人様2個までとさせていただきます。購入には、受付時にお渡しした「整理券」が必要です。

パネルディスカッション

【テーマ】
 「春ウニの魅力と地域おこしの可能性」

日高昆布を食べて育つ日高のウニは「春が旬」ということは意外に知られていません。地元で活躍の3名のパネリストの皆様には、春ウニの魅力と取り組まれている活動内容をご紹介します。また、地産地消やブランド化の分野でご活躍の2名のパネリストの皆様には、ご自身の経験談やアドバイスをいただきます。春ウニを利活用した地域おこしの可能性について一緒に考えてみませんか!

プロフィール

コーディネーター



鈴木 宏一郎 氏 (株)北海道宝島旅行社代表取締役社長

1965年福岡県北九州市生まれ、兵庫県西宮市育ち。1988年東北大学法学部卒業、2001年小樽商科大学大学院商学研究科修了。(株)リクルート勤務後、北海道へ移住。2007年に北海道の体験・交流・滞在型観光振興に取り組む(株)北海道宝島旅行社を設立。2010年に地域づくり支援会社の(合)北海道ふるさとづくりセンター、旅行子会社の(株)北海道宝島トラベル設立。札幌圏・全道各地の観光まちづくりのお手伝いに奮闘・努力中。

パネリスト



上野 勝三 氏 松前さくら漁業協同組合直販センター長

1959年北海道松前町生まれ。1978年に北海道立松前高等学校を卒業、松前漁業協同組合に就職。同漁協は1994年に松前さくら漁業協同組合となる。漁協職員として冷蔵部、支所、市場を経験。1997年には水揚げされる魚介類の相場(単価底上げ)を安定させるため、直販課を設立して産地直送を手がけるとともに、ウニ、アワビ、本マグロ等を扱い、商品のブランド化を図る。現在は同漁協が「道の駅 北前船松前」の指定管理者となり、そのセンター長を務める。



金子 武彦 氏 えりも漁業協同組合 営業部長

1964年北海道えりも町生まれ。1984年えりも町漁業協同組合に就職。2006年に冬島・えりも町・原野の3漁協が合併して「えりも漁業協同組合」が誕生。その後、新規事業として営業部門が新設され、直販事業(鮮魚・製品)の展開が始まる。2008年4月から現職となり、えりも町で水揚げされる美味しい海産物の直販に日々努めている。日高の春ウニの美味しさが広まり、各地から観光を含めて食べに来ていただくことを期待している。



川端 美枝 氏 (有)フードアトラス代表取締役

北海道札幌市生まれ。大学卒業後に勤めていた銀行を退職。骨休めに行ったイタリアでイタリア料理の奥深さを知り、毎年イタリア各地に留学、料理とワインを学ぶ。2001年フードコーディネーターの資格を取得し、2003年1月(有)ベルテンポを設立、取締役に就任。同年3月にはイタリア料理「トラットリア エ カフェ イルビーノ」をオープン。2006年社名を(有)フードアトラスに変更、代表取締役に就任。北海道の素材を使用したオリジナル商品を開発・販売。料理教室講師、企業・自治体の食のアドバイザー等も務めるほか、2011年には農林水産省の6次産業化ボランティア・プランナーに北海道で初めて任命される。



徳田 正人 氏 浦河町水産商工観光課長

1957年北海道えりも町生まれ、浦河町育ち。亡き父は漁師。自身の釣り歴は30年以上で、「海産物への思い入れは強い」。1975年浦河高校卒業後、浦河町勤務。2008年企画課長、2010年水産商工観光課長となり現在に至る。浦河は、パフウニを「桜ウニ」と名付けPRに力を入れている。日高コンブを食べて育ったウニのおいしさを効果的に伝える名前と思っている。名の由来は、一般的に道内のウニの食べごろが夏であるのに対し、日高産は桜の咲く春が旬。また、ヤマ桜の花言葉「あなたにほほ笑む」に着目し、ウニを食べた人が笑顔になる様子も表した。「ウニには人を呼ぶ魅力がある。」周辺の町と連携しながら、日高をPRし元気にしていきたいと考えている。



三国 昭博 氏 ひだか元気グルメ研究会会長

1967年北海道芦別市生まれ。地元高校を卒業後、ホテル関係の専門学校へ進学し、あこがれだったホテルマンとなる。札幌市内のホテルで10年勤務した後、縁あって様似町へ来て15年。アホイ山荘の支配人として、「第二のふるさと(ひとり娘にとっては生まれ故郷)の『日高』・『様似』を元気にしたい」そんな想いで「ひだか元気グルメ研究会」を設立、初代会長に就任。休日はゴルフと愛犬の散歩を楽しむ44歳。